

高耐久アス混を開発

年間10万²m施工目指す

大林道路は、ポリマー改質

アスファルトⅡ型に特殊添加材として熱可塑性樹脂を加えた、対流動性・耐油性に優れた高耐久アスファルト混合物「タフアスコン」を開発した。アスファルトプラントでの混合時に添加剤をミキサーへ投入するだけで容易に製造することができ、運搬や施工も一般的なアスファルト混合物と同様に扱つことができる。今後、主にトラックヤードやコンテナヤード、物流センター構内の舗装や重交通路線などへ提案し、年間10万平方メートル

度の施工を目指す。従来、重交通道路には半た

わみ性舗装やポリマー改質アスファルトⅡ型を使用した改質Ⅱ型アスファルト舗装を使用している。ただ、半たわみ性舗装にはアスコン系舗装と比べて工期が長くコスト高になる。改質Ⅱ型アスファルト舗装は半たわみ性舗装と比べ対流動性や耐油性が劣るという課題があった。

タフアスコンは、半たわみ性舗装に近い対流動性や耐油性、ねじり骨材飛散抵抗性を持ちながら一般的なアスファ



タフアスコン供試体（右）。改質Ⅱ型より優れた耐油性を確認

ルト混合物と同様の施工と交通開放が可能。半たわみ性舗装では、必要なミルク注入工が不要なため約50%以上の工程短縮ができる。施工単価は、

改質Ⅱ型アスファルト舗装よりも2〜4割程度かかるものの、半たわみ性舗装（超速硬タイプ）と比べると4割程度縮減できる。

